

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	居宅介護支援事業所や福祉用具業者との関わりは深いですが、同業者との勉強会、相互訪問等を含めた交流が少ない。	同業者と交流する	職員各々が、自分の行きたい認知症介護現場を、人からの情報やインターネット等で調べ提案し、それにより年間計画を作成して訪問し交流する。	12ヶ月
2	13	新人に指導する、基本の介助技術が統一されていない。 全体研修を行なったことはあるが、職員各々の介助技術がどの程度なのか検証されていない。	介助技術を向上させる	ビデオ等を利用した、目で見て分かる統一した基本介助の研修を定期的に行なう。	12ヶ月
3	36	入居者への対応の仕方に問題があるのかどうかを検証する場がない。	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを確保する	入居者への対応の仕方が正しいかを検証する。 介護倫理の学習会を開催し、全員が受講する。	12ヶ月
4	35	夜間を想定した防災訓練(特に火災に対する通報・初期消火・避難の総合訓練)の実施がなく、夜勤者2名体制での対策方法と訓練の実施が早急に必要である。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が非難できる方法を全職員が身につける	事業所内組織である救急対応委員会において、夜間の火災を想定した総合訓練(通報・初期消火・避難誘導)の内容を検討し、平成22年6月10日(木)に実施する。実施後の評価を委員会で行ない、次回の訓練に活かしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。